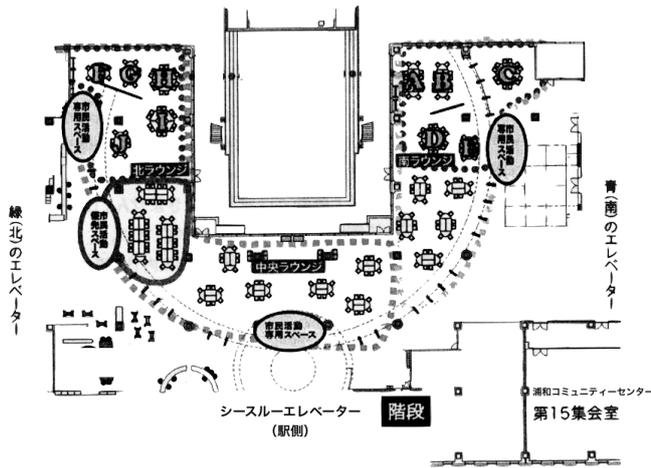


浦和PARCO コムナーレ 9階地図



浦和コミュニティセンター
さいたま市浦和区東高砂町11番1号 電話
048-887-6565

JR線・浦和駅東口（改札口を出て左側）の駅前にあるパルコの9階です。

駅側からパルコに入り、中央のシースルーエレベーターを9階で降りると、右側の奥に第15集会室があります。

浦和コミュニティセンターは10階ですが、第15集会室は9階にありますので、お間違いのないようにお願いします。

記念講演会プログラム

- ビデオ上映「ダム予定地は今 2016」 ハッ場あしたの会より
- 報告「ハッ場ダム問題の現状と今後」 ハッ場あしたの会より
- 講演「地方が変わらない限り、変革はありえない」
相川 俊英 氏（ジャーナリスト）
- 質疑

※講演会のあと午後4時より同会場にて総会を開きます。

ハッ場（やんば）ダムとは

群馬県長野原町、利根川の支流である吾妻川の中ほどに国が建設している多目的ダムです。

1952年に構想が発表され、利根川の洪水調節と首都圏の都市用水の確保を主な目的として進められてきました。関係する自治体は、東京、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬です。

水没予定地には、名勝・吾妻渓谷があり、340世帯の家屋と川原湯温泉街がありました。住民の方たちの大きな反対運動もありましたが、1986年にダムの基本計画が公示され、1994年から道路の付け替えなど付帯工事が開始されました。2015年からは本体工事が始まりました。

現在、ダム予定地では、吾妻川沿いの国道は封鎖され、木の伐採、遺跡の発掘調査をしています。

最後まで残っている住民は移転をせまられています。兩岸の山は深く削られ、川はせき止められ迂回、干上がった川底にコンクリートが打たれ始めています。

地元に大きな犠牲を強い、自然の破壊をもたらすダムは、関係都県の水道行政でも水質の良い「地下水」切捨てを織り込むなど、ダム計画を前提とした歪んだものとなっています。

ハッ場あしたの会は

2006年、ハッ場ダムを考える会会員有志らによる東京でのコンサート「加藤登紀子と仲間たちが唄う ハッ場のちの輝き」を出発点として、2007年に発足しました。「ハッ場ダム事業の見直し」と「ダム予定地の再生」を目的とし、ハッ場ダム事業の現状と課題を一人でも多くの人に知らせるために活動しています。これまでの取り組みやハッ場ダムについての情報はホームページでも公開しております。どうぞご覧ください。

連絡先 ハッ場あしたの会

東京事務局 〒187-0002 東京都小平市花小金井5-55-14

TEL：042-467-2861 FAX：042-467-2951

ホームページ <http://yamba-net.org/>

ぜひご覧ください